



平成30年11月1日
No.89

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
米 靖弘

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL.078-891-3871 / FAX.078-891-3872
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyokaren.or.jp>

みんなねっと兵庫大会開催！

11月26日(月)27日(火)ポートピアホールへ

『精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために』

(公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会

副会長 南部 和幸

この『精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために』のテーマには我々からの多くの想いが込められています。

精神疾患に苦しむ我が子の姿を見て、こんなに苦しんでいるのに、更に一生薬を飲み続けなければならぬのか、他に治療法はないのかとご家族の方は日々疑問に思われていると思います。

精神疾患による内なる恐怖感から、家から外出することもできないひきこもりの方も沢山居られるのではないのでしょうか。

少しの支援に繋がるだけで、立ち直れる場合もありますので、是非、この兵庫大会に参加下さい。盛り沢山のテーマの中から一つでも得るものがあれば、ご家族のこころの回復に役に立ち、また当事者や支援の皆さんにも、貴重な情報を共有できると信じます。

精神疾患への偏見は周囲の人たちのみならず私たち家族にもあると思います。

このような、偏見を少しでも無くして行くための啓発活動や学校教育が重要ですが、今回、何故日本の教育制度で『精神疾患』が抜け落ち、現在、多くの教育者の方々がこの状態から抜け出そうと努力されているかを学ぶことが出来ます。

こころの不調を治していくための薬は使い方によって毒になる場合もあります。

薬のみに頼らない心構え、減薬の話しや対話による治療、そして音楽療法やスポーツ療法と言った対処法もあります。そして、ピアサポーターなどの当事者の力、また本人が働く喜びをどう生かすかなどを学んでいきましょう。支援者を含め多くの方と知り合うことにより新しい世界の発見もあると思います。

こうして、私たちが連帯して、三田事件や寝屋川事件のような痛ましい孤立の悲劇を二度と繰り返させないことができるのではないのでしょうか。

本人と家族の明日を切り拓くために、ポートピアホールの兵庫大会で学び合ひましょう！

県知事に精神福祉施策充実に係る要望書を提出へ

【みんなねっと兵庫大会の成功にご支援下さい】

1. 30年11月に開催の「みんなねっと兵庫県大会」を県民連携事業に選定頂き有難うございました。“最高のおもてなし”が出来ますよう最後までご支援をお願いします。

【他障がいと同等の支援を】

2. 昨年に引き続き、みんなねっとの指導で全国規模のJR運賃割引キャンペーンを実施中です。早く、身体・知的障がいと同等になるように行政としての支援をお願いします。
3. 身体・知的障がい同等に精神障がい者相談員制度の早期法制化を国に働きかけてください。
4. 重度障害者医療費助成（全科無料）の対象を精神1級→2級までに拡大してください。既に、多くの自治体が障がい者間の格差解消のために精神1級→2、3級への拡大を実施しており、兵庫県も2級までの拡大をお願いします。

【精神障がいに対する教育、啓発の促進】

5. 「心のバリアフリー教育」を学校の義務教育の早い時期（小、中学生）から実施して「精神障がい者を正しく理解」し、病気の早期発見と偏見・差別を無くすよう指導をお願いします。
6. 教育委員会から地域自治会の人権学習会等で「精神障がいへの理解」を大きく取り上げたびたび社会問題を生ずる原因である、偏見・差別を無くすよう指導をお願いします。
7. 「こころやすらぐひろば」事業は「地域住民との交流の場」として定着し、偏見・差別解消の窓口となっています。今後も継続、発展させていきたいと思っております。今年度は家族会の費用で運営していますが、来年以降は経費支援をお願いします。

【精神障がい者就労の促進】

8. I P S モデルを企業に導入を進め、精神障がい者の雇用拡大を図って下さい。
9. 事業協同組合（特定事業主特例）を広め、精神障害者雇用の拡大を図って下さい。
10. 企業において「精神障がいの理解を深める」研修を全社員に徹底するよう指導して下さい。
11. 就労定着率向上のため企業は就職後の精神障がい者社員教育・育成を、安定するまで気長に実施して下さい。また当人の能力に合わせて短時間就労の導入を配慮して下さい。

【医療・年金に関する要望】

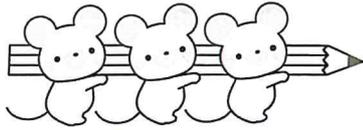
12. 精神科特化訪問看護等、アウトリーチ型医療福祉の充実に早急に図って下さい。特に地方での施設数が少なく、精力的に整備してください。（地域包括ネットワークの促進）
13. 精神科病院において不必要な隔離・拘束及び薬物の多量・多剤使用など人権侵害の情報が多く報告されている。兵庫県の改善状況を調査し、毎年報告して下さい。
14. 兵庫県の障害年金審査の国移管後の状況が問題ないか、調査し報告して下さい。
15. 自立支援医療費の自己負担無料化を国に働きかけて下さい。

【当事者及び家族支援に関する要望】

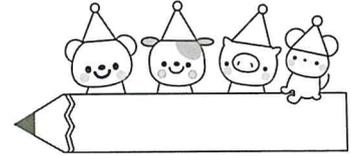
16. 当事者活動、家族会活動に対する県及び市町の支援を強化して下さい。「ピアサポート事業」、「家族による家族学習会」への経費等の支援をお願いします。
17. イギリスのメリデン版訪問家族支援技術を「みんなねっと」が導入し、技術を国内に広げています。ご支援を宜しくをお願いします。

【グループホーム等退院促進に関する要望】

18. 精神障がい者が地域で生活する為の「グループホーム」、「住宅」が不足しています。退院直後に一人住まいが容易に出来るよう、安価で安心できる住居が必要です。



ご 報 告



(公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会 平成30年度定時総会

平成30年度定時総会を6月13日(水) 13:30~15:15、兵庫県福祉センターにて開催しました。兵庫県下41名のうち欠席は6名で、更に役員、同伴者が16名出席し活発な審議、報告が行われ全件、全員一致で承認されました。平成29年度の主な活動報告として、本年もJR運賃等の割引国会請願活動を推進したが、少しずつ改善の動きがあったが結果が出ず、JR等大手の進展はなく、引き続き今年度も活動を続けることになった。また平成28年度に開設した「こころやすらぐひろば」事業および、みんなねっとの補助金を受けて「家族による家族学習会担当者研修会」を開始したが、平成30年度も継続し実施することにした。

本年は11月26、27日に「みんなねっと兵庫大会」を神戸ポートピアホテルで開催します。全国より我々家族会員をはじめ約2,000人が参加する一大イベントであり、兵庫県を良く知り、関心を持って頂く絶好のチャンスです。家族会のみならず関係部門の支援者の皆様にもご協力を頂き、“最高のおもてなしを”と思っています。ご支援、ご協力をお願いします。

本年も総会終了後、第2部で意見交換会を開催しました。4グループに分けて「家族会の活性化」についての自由な討議を行い、各グループよりの発表会を行ったが、和気あいあい活発な討論会でありました。(16:15終了)

(公社) 全国精神保健福祉連合会 平成30年度定期総会

平成30年度定期総会が6月4日(月)~5日(火)に東京池袋のアットビジネスセンターにて開催されました。全国46都道府県の家族会会長、事務局長が参集し、6月4日の定期総会では予定の議案審議、報告事項等、活発な意見交換の後、全員一致で承認されました。

「みんなねっと賛助会員の拡大について」議案の提案があり、近年賛助会員が13千人→12千人程度に減少しており、活動資金の赤字が毎年500万円程発生している。各家族会においては、賛助会員の増加を計画的に進めて欲しいとの依頼があった。

なお、兵家連より「みんなねっと兵庫大会」の大会チラシを配布して開催の準備状況については、順調に推進していることを説明し、多数の参加を呼びかけた。

ひょうかれん
賛助会員
募集

あなたのご支援で、ひょうかれんは運営されています!

年会費 団体の場合 1口 10,000円

個人の場合 1口 3,000円

一口以上、何口でも結構です

振込先 郵便振替 01110-4-83568 兵家連



TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から (1)



ひめかれん20周年記念講演会の開催

ひめかれん 理事長 松尾 享

5月13日、姫路市精神保健福祉連合会（通称：ひめかれん）創立20周年を記念して講演会が開催され280名が参加した。平成10年5月に精神障がい者を持つ家族の交流を目的として活動を開始、以来この間精神障害を取り巻く法律や行政の取り組みも大きく変わってきたが、精神障がい者に対する偏見の解消と、地域社会でのその人らしい暮らしの実現は中々容易ではない。

一方、統合失調症の発症の時点で精神疾患と認識している家族は少なく、急性期に手が付けられない状況になって初めて保健所とかクリニックに相談に行くケースが多い。また、統合失調症の新薬が次々に開発されているものの現在の治療では完治することは不可能であるが、適切な薬剤を継続服用すれば支障なく安定した日常生活を送ることは可能である。

このようなことからメインテーマを「統合失調症と共に生きる」として、一般市民の方に理解を深めていただくと共に、当事者及び家族の方がどうすれば統合失調症を克服し、自分らしく生き生きと生活していけるかを狙いとして20周年記念講演会を開催した。

基調講演は、東北大学名誉教授・日本精神神経学会元理事長の佐藤光源氏より「統合失調症を中心にメディカルケアの課題と展望」と題して、新しい試みのスピーカーズビューロー仙台等を一般の方にも分かりやすく丁寧に説明された。続いて姫路地区の高岡病院・長尾卓夫院長、仁恵病院・神立禮次院長、播磨大塩病院・山本英雄院長及び姫路北病院・西野直樹院長をパネラーとして姫路市保健所・田所昌也氏の司会により、「統合失調症のリカバリーを目指して」というテーマで、診察現場の視点から発症初期の対応、病状悪化に対する対応、症状の安定・リカバリーについてパネルディスカッションが行われた。

この度の講演会により精神障がい者及びご家族が、これからの生活に希望と明るい夢を持たれると共に精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が強力に推進されることを願うものである。



『月刊みんなねっと』購読のお願い

兵家連では家族会の全国組織である「みんなねっと」の活動を支え、更に発展を促す為に『月刊みんなねっと』購読者の拡大活動を行っています。各地域の家族会が購読の勧誘に参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願ひします。

賛助会員(購読料金)の種類と年会費

個人賛助会費：3,600円/人 団体賛助会費：3,000円/人 特別賛助会費：5,000円/口

TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から (2)



気ままな対話の力 ～「こころやすらぐ広場」から

ほのぼの会 副会長 新銀 輝子

県委託事業「こころやすらぐひろば」をほのぼの会が三木市で開いています。いつも気楽な食事会ができるように、こちらで手料理を用意して賞味してもらう時もあり、昼食をはさんだ日程～〈毎月第3土曜日11:00～13:00〉にしている。

専門知識がないからこそゆっくりとお話を聞くことができる。同じ立場だからこそ、痛みがわかる。語ってスッキリすることも多いものです。リピーターの方も多いです。毎月楽しみにして来てくださる様になりました。初めは自分の悩みを聞いてもらっていたのが、今度は新しい方の心の支えにさせていただいている。そんな場面に遭遇します。できるだけ家族会からの助言などを控えるようにしている。家族会員でない人とのつながりが広がります。

家族やご本人が生きづらさを感じた時に、同じ立場の仲間として話をまず、聞いていく、悩みや、相談、居場所を見つけ、仲間を見つけ、情報を共有することが事業の目的です。「対話」は、心の病にとって何よりの治療ではないかと思うこの頃です。世の孤立の流れを防ぐ一助になればと願う。会員ではない方も大歓迎です。

《連絡先：090-8513-8222(新銀) 場所：合同会社アイグルー(三木市志染町青山1丁目5-13)》

『みんなねっと兵庫大会プログラム』

1日目：11月26日(月) 神戸ポートピアホテル

10:00 受付開始

11:00 オープニングアトラクション

うた、三線、和太鼓

12:00 開会式 兵庫県知事 井戸敏三 神戸市長 久元喜造

13:00 基調講演 愛知県立大学准教授
山田浩雅先生『精神疾患を正しく理會するための教育の必要性について』

14:30 活動報告

- 1) みんなねっとからの活動報告 理事長 本條義和
- 2) 厚生労働省からの行政報告

16:10 特別講演

『最新の精神疾患の薬と対話による治療』
東京都医学総合研究所病院等連携研究
センター長 糸川昌成

18:15 懇親会 『大輪田の間』

2日目：11月27日(火) 神戸国際会議場

9:00 受付開始

9:30 分科会

第1分科会：『はじめてます！こころの不調・病気を学び回復を支える授業』

第2分科会：『当事者の力、自立と経験を活かす（ピアサポーター活動）』

第3分科会：『薬だけに頼らない精神疾患との向き合い方』

第4分科会：『私たちが求める家族支援について』

第5分科会：『閉じこもっている本人とその家族の支援は』～家族と家族会の力と役割～

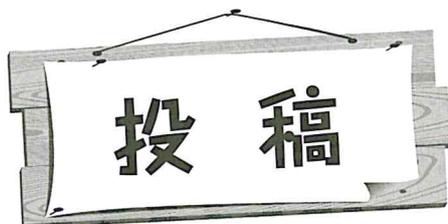
第6分科会：『就労移行支援と定着』

12:35 閉会式

第2部

13:30～15:30

楽しいクラウン(道化師)とエンターテイメントショー



孤立を防ぐために

～こころ痛む事件に考える

理事 伊東 久雄

痛ましい三田事件等から

今年4月三田市で「精神疾患のある長男が16歳頃から暴れるため、父が25年間檻に監禁、そのため片目失明」との事件があった。15年間両親に監禁され一日一食、32歳の体重が19kgで凍死した、精神疾患発症の娘さんの信じられないほど痛ましい2017年寝屋川事件を思い起こした。彼女が一日も登校しなかった中学校や自治体は地域で起きた無残な悲劇に無関心だったと反省した。三田事件の場合は市や社協に父は相談したという。両者は病に無知な家族、助けられなかった地域の問題という点で共通しているように思う。家族の一人として決して他人事とは思われず、極端な例として片づけられない。なぜ、こんな痛ましいことが繰り返されるのだろうか？

こうした家族責任者の保護放棄の真相は裁判を待たなければならないが、ただ、疑えないのは家族が適切な精神疾患治療・支援の情報やつながりから極めて孤立していたことである。京都家族会連合会の会員調査によると、「異変を感じてから受診するまで平均約1年10か月、初診から病状が安定するまで平均約13年8か月」(2014年研修会資料から)、この間の家族の葛藤、辛苦は家族の誰もが経験し、多くは本人を強制入院へ。

「長すぎた入院」ETVドキュメントを私は連想する。39年精神科病院に入院させられた時男さんが福島原発事故で退院、なぜ退院できなかったかを探求する旅に出て、例えば2,000枚のカルテを入手、それには二回だけ幻覚と記され、あとは異常なし、彼は「人生は取り戻せない」と憤る。国は退院促進事業を進めてきたが、国際的に突出した「長すぎる入院」(病でやむを得ない入院の中、引き受け手のない社会的入院は8万人)の実態はあまり変わらない。社会から孤立させられる本人の切なさはいかばかりだろうか。

私たちはどうすればよいのだろうか---

兵家連は退院促進助成事業の一環として、毎年、研修会・こころの病家族教室開催などを進め、支援者・家族や本人らがつながる体験・情報の共有に努めている。「こころやすらぐ広場」で家族会員でない人々がリピーターとなってきている。増える精神疾患患者は厚労省調査で約400万人、そのうち何割が家族会や福祉制度につながっているだろうか？高齢化し、疲弊する家族を含め、声を上げようとして、声を上げられない人たちに関心と愛と支援の知恵と力を！

(カットは筆者描く 18.5.31記)



当事者の声

私の治療体験

ピアサポーター 御影倶楽部 濱田 泰典

精神病は脳の病気ともいわれます。それは病気の大きな本質を言い表わしていると思います。けれども、この病気のもう一つの重要な側面は当事者と周りの人との関係性にある気がします。当事者が理解されない、理解者がいない、当事者の心が心の中の社会から孤立するという状況に端を発し、そこから、脳の機能などを失調し、周りに病気として認識されているという流れがあると思います。

私自身、人生の半分を鬱や統合失調症と共に過ごし、病気が寛解するまでに十数回に及ぶ入退院を繰り返してきましたが、治療が本格的に功を奏したタイミングというのは私とその周りの人々が私の病気を受け入れてくれて、心を許せる理解者に恵まれた時でした。

病気の始まりは些細なもので、小さな心の悩みや不安を解消出来ない心の疲れと、その悩みを誰にも話せない孤独から始まったように思います。一人で不安を抱えると、それはどんどんと大きなものに成長していき、徐々に精神病特有の妄想が出始め、抱える悩みは一般の人には理解不能なものへと発展していきます。

普段から何気ない話でもなんでも話し合う関係があったら、病気はそこまで重くならなかったかもしれません。ですが、今となっては病気の経験は、同じ理解者になるための良い経験になったと思います。

悩みは基本的に聞いてあげるだけで良く、必ずしも解決策を示してあげる必要はありません。当事者が欲しているのは話の内容を理解してもらう事や、問題の解決法ではなく、「私は辛い」という気持ちを汲み取って欲しいという事です。当事者の言葉の後ろにある、苦しみを理解してあげれば、細かい話の内容までは分かる必要はないように思います。悩み自体は何度も話をする内に当事者の中で悩みに対しての客観性が高まり、自然に自分で解決出来るようになったり、自身でコントロールしやすいものへと変化していきます。心の治療は最後に行うのは当事者本人なのかもしれません。簡単ですが私の病気の治療の経験をまとめて書かせて頂きました。



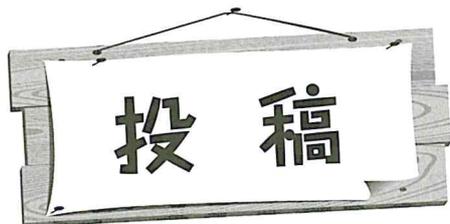
お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

TEL. 078-891-3886

土・日・祝日を除く 平日 10:00~12:00、13:00~15:00

病気の事や経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度(手帳・年金・他)利用の手続きなどについて、県から相談員として委嘱された家族会員や精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。



親亡き後

「ゆっくり」心の病をかかえる当事者の会
加藤 正明

【突然 母の死】精神障害者で車椅子生活であった母（67歳）が、ガンで入院中に突然脳梗塞で死去。この日、私は通院（薬）の予定であったが、知らせを聞いてパニックになり、何も手につかず呼吸するのもつらい状態に陥ってしまった。

母方の伯父に薬を頼んだり、35日の法要の場で私（喪主）に代わって、私の精神疾患のことを親戚一同に報告してもらったりしたところ、「もう、おまえとは付き合われへん」と一斉に引き上げ、伯父以外はそれきり連絡が途絶えてしまった。

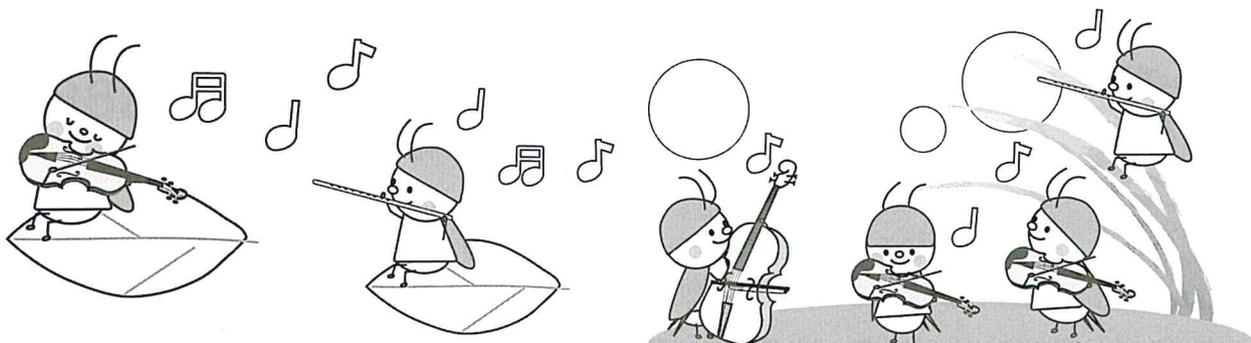
すでに不安や不眠など心を病んでいた私は、ますます心身ともに落ち込んで、仕事も出来なくなり「どうにでもなれ！」と自暴自棄になってひきこもり状態になってしまった。

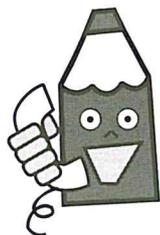
【つながり】かつて、母の介護者であった方からのつながりで、私の現状を知った社会福祉協議会から電話が入り、司法書士を紹介してもらうことができた。「生きていけるかもしれない」。3年間ひきこもっていた自分を救ってくれる人や制度があることを知って光が見えたような気がした。(1)相続の手続き(2)障害者手帳の取得、そして(3)障害年金の申請など、初めて知ったことばかりで戸惑うことが多かったが、付き添ってもらいながら、一つひとつ教えてもらったり、助けてもらったりして、あちらこちら何度も訪ねて手続きを行った。

市役所、元の会社、病院、郵便局、銀行、裁判所など、行き来する内に今まで知らなかったこと、考えてもみなかったことをたくさん学ぶことができたし、いろいろな人とかかわることができたことが、私の大きな自信になり、生きていく力になっていった。

【社会資源の活用】現在、私が利用活用している諸制度(1)成年後見制度「補助」…金銭管理(2)ヘルパー登録…通院介助、家事援助（調理、掃除）、移動支援（買い物、レジャー）(3)就労移行…（なるべく働きたいので、現在、新聞配達から始めている。）

【社会参加】諸制度を活用しながら、自助グループ〈ゆっくり〉の役員として、少しでも同じ立場の人や地域の人と力を合わせて自分の経験を活かしながら活動している。節約ばかりでなく、ヘルパーと一緒に買い物、友達と食事も楽しんでいる。



電話
相談

Q & A

電話相談室担当 P S W

【就労定着支援について】

今回もご相談いただいたご家族からの事例を取り上げたいと思います。
なお、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

質問

相談者：当事者の父

息子は今年30才になります。大学卒業後に企業に就職しましたが、半年後に調子を崩し統合失調症と診断されました。その後、入院を繰り返し仕事も余儀なく退職しました。やっと3年前から就労支援B型事業所を利用し始め、今は何とか健康で落ち着いた生活を取り戻しています。先日、息子から「もう一度、一般就労を目指したい」と相談を受けました。息子がここまで元気になったことは嬉しいことですが、また無理をして調子を崩すのではないかと心配しております。親の老婆心ではありますが、病状を崩さず一般就労を成り立たせる手立てはないでしょうか？

回答

息子さんが順調に回復され、一般就労を目指されていることは素晴らしいことだと思います。それだけにご両親の「もう再発させたくない」というご心配も募っておられるのですね。現実の問題として障害のある人が仕事を続けていくには、忙しさや対人関係など職場にはストレスになることも多く、ご心配のように就職しても長く続けられなかったという方の話もよく耳にします。そのような中、今年4月から「就労定着支援」という新しいサービスがスタートしました。これは障害者総合支援法に基づく福祉サービスの一つなのですが、障害のある人（通所訓練サービスを経て一般就労した人）が働き続けることを支援するために作られたサービスです。働くことだけに注目するのではなく、働くことに伴う生活の課題（病気との付き合い方）を支援していくことを目的にしています。少しずつですが、障害がある人が働くことに対する支援やサポート体制が整ってきています。どうぞ、息子さんの勇気ある一歩を地域の支援者と共有しながら応援されるのはいかがでしょうか。就労定着支援を利用したい方は、住んでいる自治体の福祉窓口にご相談ください。

H29年度 兵庫県精神障害者相談員 相談実績

兵庫県では、精神障害者の保健福祉等に関し、当事者又は家族等が身近な立場で相談支援を行う精神障害者相談員（平成30年3月31日現在276人）が全市町に配置されています。

平成29年度の相談実績等は下記のとおりです。

①圏域ごとの相談員数、相談対応件数について

圏域	相談員数 (人)	相談対応件数 (件)	相談対応以外の件数 (会議・行事等への参加) (件)
神戸・阪神	98	2,444	384
東播磨	41	1,700	120
北播磨	26	2,575	73
中播磨	28	1,136	40
西播磨	32	1,218	183
但馬	23	2,081	191
丹波	10	184	31
淡路	18	1,231	345
合計	276	12,569	1,367

②相談者の内訳 (延べ人数) (人)

本人	7,316
家族	3,887
その他	1,366
合計	12,569

③相談内容 (件数) (件)

家族・家庭関連	3,167
法律関連	228
経済関連	827
生活関連	2,430
福祉サービス関連	1,487
社会復帰・社会参加関連	1,949
健康・医療関連	2,481
合計	12,569



精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター

電話番号 078 - 367 - 7210

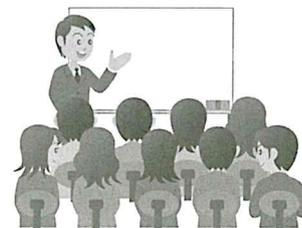
平日：午後5時～翌日午前9時

土・休日：午前9時～翌日午前9時

(平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に教えてください◆

研修会・家族教室



2018年度精神保健福祉研修会日程 (実績・予定)

開催地区	開催日	開催場所	担当家族会
但馬地区	2018年10月12日(金)	和田山ジュピターホール	なんたんひまわり家族会
丹波・北播磨地区	2018年11月29日(木)	ミライエ西脇市	白ゆり会家族会
阪神地区	2019年2月16日(土)	芦屋市福祉センター	芦屋家族会
中・西播磨地区	2018年12月8日(土)	兵庫県立姫路労働会館	ひめかれん
東播磨・淡路地区	未定	未定	未定

2018年度こころの病家族教室 (実績・予定)

地区名	開催予定日	時間	開催場所	担当家族会
但馬地区	2019年2月20日(水)	13:30～16:30	養父市県立但馬長寿の郷	のぎく家族会
丹有・北播地区	2019年2月9日(土)	13:30～16:30	三田市総合福祉保健センター	にじの会
阪神南地区	2018年11月4日(日)	13:30～15:30	尼崎市立中央公民館	あまかれん
	2019年1月19日(土)	13:30～15:30	芦屋市福祉センター	芦屋家族会
阪神北地区	2019年2月3日(日)	13:00～16:00	伊丹市立図書館ことば蔵	伊丹あじさいの会
東播・淡路地区	未定	未定	未定	みはら家族会
西播地区	未定	未定	未定	未定
姫路地区	2019年2月(予定)	13:30～16:00	姫路市保健所	ひめかれん
中播磨地区	2019年3月(予定)	未定	未定	NPO法人中播磨峰の会
神戸地区※	2018年12月9日(日)	13:00～16:40	兵庫県福祉センター	木の芽家族会

※神戸地区は神戸市補助事業として開催

兵家連活動日誌 役員 の 動き

(平成 30 年 5 月～ 8 月)

K S K P

発行人 〓 関西障害者定期刊行物協会 / 大阪市天王寺区真田山町 2-1-2 東興ビル 4F
一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価 〓 五十円

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 7 朝日新聞取材 (兵庫県福祉センター) (米) 8 H29年度会計・業務監査 (兵家連事務局) (米・山本・國下) 10 全国大会案内者用看板サンプル提出 (兵家連事務局) (石原) 13 ひめかれん20周年記念大会 (姫路キャッスルホテル) (米) 16 兵庫障害者2018通常総会 (姫路市花の北市民広場) (米) 17 みんなねっと兵庫大会第5回ワーキンググループ会議 (兵庫県福祉センター) (米、浦波、南部、新銀、大倉、河上、本條、石原、佐伯、山瀬) 18 みんなねっと兵庫大会第5分科会打合せ (兵庫県福祉センター) (伊東、南部) 19 H30年度NPO法人かたくり通常総会 (J A丹波ひかみ農協柏原支店) (浦波) 23 平成30年度宝塚家族会総会 (宝塚健康福祉事務所 2階講堂) (浦波、石原)
就業支援ネットワーク会議 (クリスタルタワー) (佐伯) 24 会誌#89編集会議 (兵庫県福祉センター) (米、浦波、南部、伊東、松尾、代田)
運営監視合議体 (兵庫県福祉センター) (新銀) 26 第12回県障害者のじぎくスポーツ大会「陸上競技・フライングディスク・サッカー」(県立三木総合防災公園) (浦波)
国民民主党兵庫支部結成大会 (ラッセルホール) (佐伯) 29 兵庫障害者スポーツ協会第21回理事会 (兵庫県民会館 1202号) (浦波) 30 H30年度兵家連電話相談員研修 (顔合わせ) (兵庫県福祉センター) (河上、電話相談員) 3 第34回きょうだいい (兵庫県福祉センター) (新銀、辻本) 4 みんなねっと定期総会 (池袋アットビジネスセンター池袋別館) (米) 5 みんなねっと会長・事務局会議 (または運賃割引集会&要請行動) (池袋アットビジネスセンター池袋別館) (米) 7 みんなねっと兵庫大会第6回ワーキンググループ会議 (兵庫県福祉センター) (米、浦波、南部、新銀、大倉、河上、本條、石原、佐伯) 12 NPO法人明石ともしび会10周年記念大会出席 (アスピア明石北館) (米) 13 H30年度定時総会 (兵庫県福祉センター) (米) 14 みんなねっと兵庫大会第3回実行委員会 (兵庫県福祉センター) (米)
みんなねっと兵庫大会近畿ブロック・WG事前打ち合わせ (兵庫県福祉センター) (米) 15 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科 (講師派遣) (武庫川女子大学中央キャンパス) (河上) 16 全国大会第4分科会打合せ (兵庫県福祉センター) (南部) 17 第28回あまかれん総会 (尼崎市立公民館) (新銀) 20 神戸地区チラシ配布会議 (兵庫県福祉センター) (木の芽会) | <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 20 精神科診療所協会会長訪問 (兵庫県精神科診療所協会) (南部、浦波) 22 みんなねっと兵庫大会手話通訳要約筆記についての打合せ (聴覚者障害情報センター) (佐伯)
全国大会事前打ち合わせ (明石市あしたクリニック) (南部、浦波) 25 兵庫看護協会会長 (中野様) 訪問 (兵庫県看護協会) (石原) 26 神戸市・松原課長訪問 (神戸市役所) (石原)
第1回ひょうご障害者総合トレーニングセンター整備基本構想検討委員会 (県リハビリテーション交流館) (浦波) 29 全国大会下見・打合せ (国際会議場) (南部、浦波、佐伯、石原)
全国大会下見・打合せ (ポートピアホテル) (南部、浦波、佐伯、石原) 1 近ブロック打ち合わせ (明石ふれあい作業所) (米、本條、南部、新銀、浦波) 3 全国大会第2分科会準備会 (兵庫県福祉センター) (大倉) 5 全国大会第3分科会神津先生面談打合せ (東京ナチュラルクリニック代々木) (南部) 9 全国大会あいさつのため訪問 (病院協会・診療所協会・公明党) (南部、浦波、本條、米、新銀) 11 全国大会案内封入・発送作業打合せ (すいせいCASTビジネスアカデミー) (石原) 12 平成30年度第1回権利擁護部会 (兵庫県福祉センター) (米)
兵庫県政150周年記念式典 (神戸国際会館) (南部) 13 県・福祉課訪問 (兵庫県庁) (米、南部)
きょうされんとの全国大会打合せ (兵家連事務局) (米、南部、本條、石原、) 19 みんなねっと兵庫大会第7回ワーキンググループ会議 (兵庫県福祉センター) (米、浦波、南部、新銀、大倉、河上、本條、石原、佐伯) 23 第14回兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会第1回実行委員会 (兵庫県庁) (南部) 25 全国大会案内封入・発送作業打合せ (すいせいCASTビジネスアカデミー) (石原) 27 わーくわくネット会議 (石川病院 (姫路)) (米)
社会福祉情勢セミナー (神戸芸術センター) (米) 2 運営適正化委員会 (県社会福祉協議会) (新銀) 8 全国大会打合せ (神戸市国際会議場) (南部、石原、佐伯) 9 みんなねっと兵庫大会第8回ワーキンググループ会議 (兵庫県福祉センター) (米、浦波、南部、新銀、大倉、河上、本條、石原、佐伯) 10 精神科救急連絡調整会議 (農業共済会館) (河上) 17 全国大会打合せ (ポートピアホテル) (南部、石原、佐伯) 22 近畿ブロック代表者会議 (大家連) (米) 23 精神障害者相談員スキルアップ研修 (講師派遣) (姫路市民会館) (河上) 26 第35回きょうだいい (兵庫県福祉センター) (新銀、辻本) | <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月 | <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月 |
|---|---|--|--|

※兵家連役員会 (6/6・8/1 県福祉センター 米・浦波・南部・新銀・大倉・河上) 石原←8/1より出席

編集後記

11月26・27日みんなねっと全国大会に向けて家族会が一致団結皆さんの地元にある精神科病院・診療所・訪問看護ステーションへチラシをもって訪問する趣旨は家族会活性化の為です。訪問先には苦しんでいる家族の情報源があります。家族会の案内チラシをもってPR活動をするチャンスです。高齢化、後継者問題は足元にあります。家族会に病院・診療所・訪問看護ステーションを招いて魅力ある家族会活動をして家族会もこの機に勉強してください。(浦波)
編集委員/米・浦波・南部・伊東・松尾・代田